

| 横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨 | |
|-------------------------|---|
| 日 時 | 令和3年4月16日（金）18時00分～18時30分 |
| 開催場所 | 市庁舎10階 本部会議室 |
| 出席者 | <p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、デジタル統括本部長、政策局長（代理：政策局副局長）、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長（代理：道路局副局長）、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、泉区長</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p> |
| 開催形態 | マスコミ公開 |
| 議 事 | <p>開 会</p> <p>1 市内の状況について</p> <p>(1) 感染発生の状況<健康福祉局> 資料1に沿って説明【健康福祉局長】 ・本日の新規感染者数は65人</p> <p>(2) 医療提供体制の状況<医療局> 資料2に沿って説明【医療局長】 ・4月15日時点の重傷者病床使用数は8床、そのうち人工呼吸器使用数は4台、ECMO使用数は0台であり、現状余裕はあるが、少しずつ重傷者病床使用数が増加してきている。 ・4月15日時点の病床使用数は、重症＋中等症等患者で98床、発熱等疑似症患者で180床、合計で278床であり、病床に関しては現状余裕がある。 ・第3波の際には陽性者のほか、新型コロナウイルスへの感染が疑われる発熱患者（＝発熱等疑似症患者）も陽性患者用病床に入院したことが、病床がひっ迫した原因となった。 ・また、新型コロナウイルスの症状が軽快した後、その他の合併症や基礎疾患等により入院が長引き、退院ができない患者による病床使用もひっ迫の原因となった。 ・これらを踏まえ、第4波への対応として、陽性患者用病床を増やし、発熱等疑似症患者用病床を確保するとともに、陰性化した患者を受け入れる病床（＝後方支援病床）も確保した。（各確保病床数は資料P. 16のとおり）</p> <p>【市長】 ・医療関係者の御協力のもと、925床を確保することができた。感謝申し上げたい。 ・市民の皆様には引き続き感染対策の徹底をお願いしたい。</p> <p>(3) ワクチン接種の状況<健康福祉局> 資料3に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>【市長】 ・すべての市民の皆様が安心して接種を受けられるよう、引き続きオール横浜で取り組んでいきます。</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| | <p>2 県の方針（まん延防止等重点措置に係る県実施方針の概要） <本部運営調整チーム> 資料4に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>3 本市の対応（市民利用施設やイベント等の対応） <本部運営調整チーム> 資料5に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>4 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>5 その他</p> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンネックレスにおける感染症対策を環境創造局長に伺いたい。 <p>【環境創造局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ガーデンフェスタ等においては、入口での手指消毒、マスク着用をお願いに加え、一方通行の順路を設け、間隔を取ってご案内している。今後も引き続きしっかりと対応していきたい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密にならないようなご案内をしっかりとお願いしたい。 <p>閉 会</p> |
| <p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p> | <p>1 資 料</p> <p>《市内の状況について》</p> <p>資料1 感染発生状況【健康福祉局】</p> <p>資料2 医療提供体制の状況【医療局】</p> <p>資料3 ワクチン接種の状況【健康福祉局】</p> <p>《県の方針（まん延防止等重点措置期間の対応）》</p> <p>資料4 県の方針（まん延防止等重点措置に係る県実施方針の概要） 【本部運営調整チーム】</p> <p>《本市の対応（市民利用施設やイベント等の対応）》</p> <p>資料5 本市の対応（市民利用施設やイベント等の対応）【本部運営調整チーム】</p> <p>2 特記事項 なし</p> |

本日、神奈川県への「まん延防止等重点措置」の適用が決定され、横浜市はその対象区域に指定されました。

第4波を迎えた新型コロナウイルスは、全国各地で、急速に感染拡大が進んでいます。特に、大阪をはじめとする関西圏で、感染者数が急増しており、東京都でも大幅に増加しています。従来の新型コロナウイルスよりも感染力が強いとされている変異株の感染者の割合も増えており対策が必要です。

横浜市内の直近1週間あたりの新規陽性患者数は422人で前の週の117%となっています。

3月と比較しても増加しており、今後、さらに急増する可能性もあります。約43万人の方が通勤・通学で23区内に往来しており、「まん延防止等重点措置」対象区域としての指定は、残念ですが、妥当な措置であると思います。

このたびの指定に伴う、横浜市の方針ですが、国や神奈川県の方針を踏まえ、

- 市民利用施設の利用を20日、火曜日から、原則20時までとします。
- 横浜市主催・共催のイベントの人数上限は5,000人とします。
- 施設や店舗で感染が確認された際には、横浜市の疫学調査チーム「Y-AEIT」が、引き続き早期の立入調査で、感染拡大防止のための指導や検査を積極的に行います。

横浜市は、今後の急激な感染拡大に備えるため、特に病床数の拡充に力を注ぎました。Y-CERTや保健所の体制強化なども行い、すでに対策を講じています。

コロナ患者さんのための病床は、市内医療機関のご協力を賜り、第3波ピーク時の入院患者数の約2倍となる554床を確保しました。さらに、感染を疑う患者さんの病床として198床、症状が軽快した患者さんを受け入れる病床として173床、合計で64病院、925床を確保できています。通常医療と感染症医療は、今までと同じように、しっかりと両立しています。

横浜市は、今後も医療提供体制を安定的に維持していくため、確保している病床を、感染拡大の状況に応じて、柔軟に稼働させていきます。

12日からスタートした高齢者施設でのワクチン接種は、順調に進んでいます。今後、始まっていく予約の受付も、しっかりと体制を整えて、対応してまいります。

4月から、保健所の機能強化やワクチン接種対応などのため、112人の職員を増員しました。大幅に強化した体制で、引き続き市を挙げて、しっかりと新型コロナウイルス対応に取り組んでいきます。

各本部員に指示します。

「まん延防止等重点措置」が効果的に機能するためには、市民・事業者の皆様のご協力が欠かせません。間もなく大型連休を迎えますが、何としても、感染拡大を封じ込めるため、対策の周知徹底をお願いします。

また、大型連休中も、感染状況などの変化に臨機応変に対応できる体制を、各区局で整

えてください。

市民の皆様をお願いいたします。

- 感染拡大を食い止めるため、お一人おひとりが気を緩めることなく、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- 大型連休もありますが、日中を含めて、生活に必要な場合を除き、外出は自粛してください。
- 昼夜を問わず、マスク飲食をお願いします。
- 感染リスクの高まる「5つの場面」を避け、テレワークやフレックスタイム等を活用するなど、感染防止に努めてください。

事業者の皆様をお願いいたします。

- 飲食店等の20時までの時短営業や、イベントの開催制限など、国・県の方針で求められている事項にご協力ください。
- 業種別ガイドラインを参考に、感染防止策の徹底をお願いいたします。
- 「出勤者数の7割削減」を目指し、テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をお願いいたします。
- お客様に対するマスク着用の呼びかけを徹底してください。
- 飲食店では、カラオケ設備の利用を自粛してください。

第4波と言われているこの時期を、皆様とご一緒に乗り越えていきたいと思っております。必ず、光は射してまいります。お一人おひとりが気を緩めることなく、感染症対策を徹底していただければ、必ず収束に向かっていくと信じています。

横浜市は今後も、国や県、医療関係の皆様と連携して、何としても感染拡大を食い止められるよう、全力を尽くしてまいります。